

第6学年 音楽科学習指導案

日時 平成29年12月19日(火) 6校時

学級 第6学年1組 24名

指導者 金田 美奈子

1 題材名「曲の仕組みの面白さを感じて聴いたり演奏したりしよう」

2 題材の目標

旋律の反復・変化による曲想の変化を感じ取って聴いたり、反復・変化を工夫しながら、簡単な音楽をつくったりする。

指導事項<新学習指導要領の第5学年及び第6学年の内容より>

「A表現」(3)ア (イ)音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。

「B鑑賞」(1)ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。

イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること

〔共通事項〕 ア (ア)旋律 リズム (イ)反復 変化

3 児童の実態と題材設定の理由

第6学年の児童は、入学当初から〔共通事項〕の知覚・感受を基盤とした音楽学習を積み重ねてきている。低学年では、短い題材において「拍の流れ」「リズム」「リズムパターン」「拍節的なリズムと拍節的ではないリズム」「旋律」「フレーズ」「反復」等を、表現と鑑賞の活動を通して繰り返し学習し、音楽表現の技能や鑑賞の能力の定着を図ってきた。中学年では、主に音楽的な感受に焦点を当て、表現においては、〔共通事項〕や音楽全体について知覚・感受したことを友達と体を動かす活動を通して交流したり言葉で伝え合ったりし、それらを踏まえて音楽表現を創意・工夫することができるような題材を多く設定した。また、鑑賞では、学習のまとめの段階で楽曲に対する自分の考えをまとめる活動を設定し、楽曲のよさについて自分の言葉で表現する能力の育成を図った。高学年になってからは、自分の思いや意図を指揮や言葉で友達に伝えたり、楽譜や学習カードに記述したりする際、音楽用語を適切に用いながら活動するよう指導を継続している。このことにより、児童は自分の音楽表現を言葉に置き換えて確認しながら、より質の高い音楽表現に向かって、意欲的に音楽活動をするようになりつつある。また、鑑賞では、知覚・感受したことを言葉で交流し、導入時の話合いの段階から音楽を形づくっている要素を手掛かりとして、話し合おうとする児童も出てきている。このような活動の中で、音楽用語や感受したことを表す言葉などが共有化され、紹介文などの活動に生かされている。

以上を踏まえ、本題材では、第6学年の鑑賞共通教材だった「組曲『道化師』」(カバレフスキー作曲)から数曲を選曲し、教材として取り上げる。題材の導入では、体を動かす活動をしながら音楽を特徴付ける要素である「旋律」「リズム」と音楽の仕組みである「反復」「変化」を手掛かりとして音楽を知覚・感受する。次に、その経験を踏まえて即興的な音楽づくりや音楽の仕組みを生かした音楽づくりを行い、最後にもう一度「道化師」を鑑賞し、旋律やリズムが楽曲の中で反復したり変化したりすることによる楽曲の構造を理解し曲のよさを味わって聴く。このように鑑賞と表現の関連を図った題材により、楽曲の構造を音楽表現を通して理解するとともに、楽曲の価値を判断しそのよさを味わう児童を育成できると考え、本題材を設定した。

4 教材と使用音源

組曲「道化師」作品26より「ギャロップ」「パントマイム」(カバレフスキー作曲)

原曲は、1938年ダニエリ・Mの児童劇『発明家と道化役者』のために16曲からなる付随音楽として作曲された。翌年、この中から10曲を選んで組曲「道化師」として発表された。

「ギャロップ」「パントマイム」は、旋律のリズムや旋律の上行・下行が知覚・感受しやすく、その反復・変化から生み出される楽曲の形式感、児童が創造力を発揮させながら音楽づくりをするきっかけになると考える。さらに、音楽づくりの後で改めて鑑賞することにより、楽曲の構造をより深く理解するとともに、自分なりの価値判断をし、そのよさを味わうことができると考える。

5 題材の評価規準

	音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の 創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
題材の 評価 規準	<p>旋律の反復・変化によってつくられる楽曲の構造を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関-① 鑑賞】</p> <p>旋律の反復・変化を生かして音を音楽に構成することに興味・関心を持ち、見通しをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関-②音楽づくり】</p>	<p>旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きの生み出すよさや面白さなどを感じ取っている。【創-①音楽づくり】</p> <p>旋律の反復・変化を生かし、音を音楽に構成するための試行錯誤をし、つくる音楽やその方法などについて自分の思いや意図をもってしている。</p> <p>【創-②音楽づくり】</p>	<p>旋律の反復・変化を生かし、音を音楽に構成している。</p> <p>【技-①音楽づくり】</p>	<p>旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きの生み出すよさや面白さなどを感じ取っている。</p> <p>【鑑-①】</p> <p>旋律の反復・変化の関わり合いによってつくられる楽曲の構造を理解して聴いている。</p> <p>【鑑-②】</p>

6 題材の指導計画 (全5時間)

時	○主な学習内容 ・主な学習活動	☆教師の支援 ◆評価【評価方法】
	<ねらい>旋律の反復・変化を知覚・感受する。	
1	<p>○曲想とその変化の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ギャロップ」「パントマイム」を体を動かしながら聴く。 ・曲想について感じたことを交流する。 <p>○旋律の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ギャロップ」「パントマイム」の旋律Aの部分を、ハンドサインをしながら聴く。 	<p>☆旋律の反復・変化が生み出す曲想の変化に関心をもつことができるようにするために、グループで体を動かす活動をしながらか聴く活動を設定する。</p> <p>☆旋律のリズムや上行・下行を体全体で知覚・感受することができるようにするために、ハンドサインをしながら最初の旋律Aだけを聴く活動を設定する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・曲全体の旋律の動きを色鉛筆で描きながら聴く。 ・感じ取ったことを学習カードに記述する。 ・旋律の特徴について聴き取ったことや感じ取ったことを交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・細かいリズムの旋律だと思う。 ・高い音から低い音に急に下がるところがある。 ・似た旋律がくり返しで出てくる。 </div> <p>○反復・変化の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拳手をしながら「ギャロップ」「パントマイム」の反復や変化を聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲全体の構造と曲想とのかかわりについて交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・くり返しがあり、ABA になっていることで、まとまりを感じる。 ・「なか」で、おどけた感じになるのが面白い。 </div> <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律の特徴や旋律の反復・変化について、まとめる。 	<p>☆旋律の動きを手掛かりとして反復・変化に気付くことができるように、色鉛筆で音楽を可視化する活動を設定する。</p> <p>☆学習のまとめとして、反復・変化について確認しながら聴く活動を設定する。</p> <p>◆旋律の反復・変化によってつくられる楽曲の構造を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関一① 発言、学習カード】</p> <p>☆反復したり変化したりすることで曲想がどのように変化するかを言語化する活動を設定する。</p> <p>◆旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取っている。</p> <p style="text-align: right;">【鑑一① 学習カード】</p>
<p><ねらい>旋律のモチーフを手掛かりにして、反復・変化のある音楽づくりをする。</p>		
<p>2 本 時</p>	<p>○旋律の特徴と反復・変化の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ギャロップ」「パントマイム」の旋律の動きを意識しながら、聴く。 ・旋律の特徴と反復・変化について、グループで前時の学習内容を確認する。 ・旋律のモチーフを口ずさむ。 <p>○旋律のリズムによる音楽づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ギャロップ」「パントマイム」の旋律のモチーフを参考にして、即興的に音を操作する。 <p>○反復・変化を生かした音楽づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくった作品を反復・変化のある音楽に発展させる。 	<p>☆体を動かさず活動で知覚・感受したことを整理するために、言葉による交流を設定する。</p> <p>☆旋律の特徴と旋律の反復・変化についてグループで確認する場を設定する。</p> <p>☆ドリア調（レミファソラシドレ）による音楽づくりを設定する。</p> <p>☆「ギャロップ」「パントマイム」の旋律のモチーフを参考にしながら音を選び、木琴や鉄琴で即興的に音を操作する活動を設定する。</p> <p>☆友達に変化したことによるよさや面白さが伝わるような工夫をするように助言する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの友達と作品を交流する。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のつくった旋律を、記号や音名で記録する。 	<p>◆旋律の反復・変化を生かして音を音楽に構成することに興味・関心を持ち、見通しをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 【関-② 演奏】</p> <p>☆お互いにつくった作品を演奏し合い、次の時間の自分の作品に生かすことができるようにする。</p> <p>☆それぞれの作品における反復・変化の工夫や曲想等について、交流するよう助言する。</p> <p>◆旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取っている。 【創-①音楽づくり 演奏】</p>
<p><ねらい>旋律の反復・変化を生かして、音やフレーズを関連付けてまとまりのある音楽をつくる。</p>		
<p>3</p>	<p>○旋律の反復・変化を生かして音を音楽に構成する音楽づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリア調（レミファソラシドレ）を使って、テーマのある音楽をつくる。 <div data-bbox="252 1093 790 1198" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・雪が降る ・猫の昼寝 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と交流する。 ・友達の意見を取り入れて旋律を工夫する。 <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくった作品を発表する。 ・くり返しや変化の面白さや曲の構造のよさについて、交流する。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品のよさについて学習カードに記入する。 	<p>☆つくってみたいテーマに合った曲想の旋律やリズムで構成された音楽をつくる活動を設定する。</p> <p>☆旋律のまとまりができた児童には、反復や変化を入れた作品をつくるよう助言する。</p> <p>◆旋律の反復・変化を生かし、音を音楽に構成するための試行錯誤をし、つくる音楽やその方法などについて自分の思いや意図をもっている。 【創-②音楽づくり 学習カード】</p> <p>☆知覚・感受の視点から児童の意見を整理し、両者を関連付けて捉えられるようにする。</p> <p>☆旋律の特徴や反復・変化の工夫について意見を交流するよう助言する。</p> <p>◆旋律の反復・変化を生かし、音を音楽に構成している。 【技-①音楽づくり 演奏 学習カード】</p>
<p><ねらい>旋律の反復・変化による楽曲のよさを味わいながら聴く。</p>		
<p>5</p>	<p>○楽曲構造の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ギャロップ」「パントマイム」を聴き、旋律の特徴や楽曲の形式について触れながら、楽曲の構造や楽曲の価値について、自分の考えをまとめる。 	<p>◆旋律の反復・変化の関わり合いによってつくられる楽曲の構造を理解して聴いている。 【鑑-② 学習カード】</p>

7 本時の学習(2 / 5時間)

(1)ねらい 旋律のモチーフを手掛かりにして、反復・変化のある音楽づくりをする。

(2)学習の展開

○学習内容	・学習活動	☆教師の支援	◆評価【評価方法】
<p>○旋律の特徴と反復・変化の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律の動きや反復・変化に気を付けながら、「ギャロップ」「パントマイム」をハンドサインしながら聴く。 ・旋律の特徴と反復・変化について、グループで前時の学習内容を確認する。 ・旋律のモチーフを口ずさむ。 <p>・めあての確認をする。</p>	<p>☆体を動かす活動で知覚・感受したことを整理するために、言葉による交流を設定する。</p> <p>☆旋律の特徴と旋律の反復・変化についてグループで確認する場を設定する。</p>	<p>せんりつのモチーフを使って、くり返しや変化のある音楽づくりをしよう。</p>	
<p>○旋律のリズムによる音楽づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ギャロップ」「パントマイム」の旋律のモチーフを参考にして、即興的に音を操作する。 <p>○反復・変化を生かした音楽づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくった作品を反復・変化のある音楽に発展させる。 <p>・グループの友達と作品を交流する。</p> <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のつくった旋律を、記号や音名で記録する。 	<p>☆ドリア調（レミファソラシドレ）による音楽づくりを設定する。</p> <p>☆「ギャロップ」「パントマイム」の旋律を参考にしながら音を選び、木琴や鉄琴で即興的に音を操作する活動を設定する。</p> <p>☆友達に変化したことによるよさや面白さが伝わるような工夫をするように助言する。</p> <p>◆旋律の反復・変化を生かして音を音楽に構成することに興味・関心をもち、見通しをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 【関-② 演奏】</p> <p>☆お互いにつくった作品を演奏し合い、次の時間の自分の作品に生かすことができるようにする。</p> <p>☆それぞれの作品における反復・変化の工夫や曲想等について、交流するよう助言する。</p> <p>◆旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取っている。 【創-①音楽づくり 演奏】</p>		